

野生獣による農作物被害の軽減支援

湖東農業農村振興事務所農産普及課

管内の野生鳥獣による農作物の被害総額は6,000万円に及び、ニホンジカによる被害が圧倒的に多く、被害の約6割を占めます。

また、今まで見られなかった特定外来生物である「アライグマ」の被害報告もあり、農産物だけでなく、家屋や神社仏閣など生活環境被害も心配される状況にあります。

湖東地域における
平成21年度の主な鳥獣別農作物被害状況

獣種	被害面積 (a)	被害量 (kg)	被害金額 (千円)
ニホンジカ	7,403	138,717	33,135
イノシシ	4,973	62,279	14,408
ニホンザル	2,550	44,026	9,824
鳥類	350	7,645	2,010

各市町調べ、県集計。

【普及活動のねらい・対象】

獣害は、無意識の餌付け行為や野生獣の行動に対する勘違い、誤った防護柵の設置など、間違った思い込みが、野生獣による被害を増長させているかもしれま



甲良町における集落環境点検

せん。このため、集落を取り巻く環境や出没する野生獣の種類などを把握し、その地域に合った対策を行うため、当課では各市町に設置されている鳥獣被害防止対策協議会や県関係機関と連携を図りながら、集落の環境点検を支援してきました。



学校農園を対象とした環境点検

【普及活動の成果】

獣害防止対策の実践に向けては、各市町鳥獣被害防止対策協議会と連携のもと、環境点検結果を参考に県事業を活用した和牛放牧や、試験研究で試作された防護柵の設置支援等を行ってきました。

また各種イベントを活用した普及啓発にも取り組んできました。

今後も、獣害の軽減に向けた集落環境点検や、地域リーダーの育成に向け、継続的な支援を考えています。



各種イベントでの獣害防止対策啓発